



早いもので8月です。七戸養護学校では、児童生徒たちは夏休み中です。きっと、夏を満喫していると思っております。夏休みは8月23日までです。元気な姿を見せてくれるだろうと、今から楽しみです。

さて、7月7日に七戸高校の生徒さんをお招きして、美術の交流をいたしました。学ぶ場が異なる生徒同士が関わることは、いろいろな人と関わることであり、それぞれの世界が広がる経験になるはずです。交流では大きなキャンバスを媒介にして、アートを一緒に楽しみました。この交流については、東奥日報、デーリー東北両紙に取材を受けました。

その他にも七戸小学校5学年と本校小学部高学年との交流も行いました。



楽しい場、充実している場はまさにインクルーシブの場です。学校同士だけではなく、地域住民との交流も行うことができるように企画しております。

ぜひ、ご参加ください。

コミュニティスクールって なあに？ Q & A

七戸養護学校にとって地域連携というと、「地域」とはどの範囲ですか？



七戸養護学校の児童生徒は、広範囲（上十三地域他）から通っています。こどもたちにとっての「地域」とは、こどもの居住地です。また、学校があるのは七戸の城内町内会の地域です。学校の立地を基準に考えると、学校周辺を「地域」と考えます。

ただ、「コミュニティスクール」の場合、大切なのは、「地域コミュニティ」と「テーマコミュニティ」。つまり、「つながりづくり」ということができます。

七戸養護学校のある地域を中心に、児童生徒が居住する「地域」とのネットワークも作りながら、「テーマ」を共有しつつ、特別支援学校について、そして、特別支援学校に通うこどもたちへの理解を広げる活動をしていきたいと考えています。



問い合わせ先：青森県立七戸養護学校 (0176) 62-2331 担当 工藤美賀子



七戸養護学校の 「応援団」になって くれませんか？

七戸養護学校では、「応援団」として、環境整備などのお手伝いをしてくださる方や、七戸養護学校の校舎に作品の展示などをしてくださるサークルを募集します。

※詳しくは裏面をご覧ください。

